

就職活動日誌

<内定先>

業種：人材広告業

選考方法：OpenES→集団面接（2対1の予定が、1対1になる）→社長面接→会長面接

<就職活動の流れ>

2015年3月

- ・はじめての学内合同説明会に参加。雰囲気につかれ、1日しか参加しないでやめる。
- ・その後の、東京ビックサイトでの合同説明会も参加をやめる。
- ・この時期は、自動車にかかわる仕事に興味があった。
- ・先輩の紹介で、自動車メーカー勤務の方にOB訪問する。

2015年4月

- ・個別説明会（自動車メーカー、部品メーカー、ディーラー）に参加する。
…なんとなく宇都宮近郊での就職を考えていた。
- ・新卒専用のハローワークへ行き、適性検査や面談をする。
- ・サトカメで証明写真を撮影。OpenESなどで使うので、データ付きのほうが◎
- ・先輩の内定先の個別説明会（人材広告業）への参加を勧められる。
→ビビッ！ときて、同業他社にエントリーしまくる。
以降、就活の拠点が東京都内になる。

☆この時期は、就活の軸が定まっていなく、面接でも失敗が続く。

2015年5月～6月

- ・自分の理想の働き方とビジョンを明確にし、やっと軸が定められる。
- ・無形商材の営業にしぼり、説明会・選考を続ける。
→広告・人材広告・企業コンサル・Web広告
- ・選考、面談、セミナーを重ね、就活が楽しくなってくる。
→最多で多いときには週4、多い日には1日4件つめこんでいた。

2015年7月中旬

- ・初めての内定をもらう
- ・その時選考が進んでいた企業の中で、志望度の強い1社だけ続け、その後は選考辞退する。内定承諾書の提出を、最終面接の結果が出るまで待ってもらうことにする。
- ・その最後の1社と、内定を頂いた会社で悩み先輩社員の方へ相談したりして、先に内定をもらった会社に決める。その後、最後の最終面接を受けるが内定はいただけず、就活終了する。

<就活全体を振り返って>

・私は、特に志望業界も勤務地も絞らず就活をはじめました。最初は、自動車に興味があるということと、ガソリンスタンドでのアルバイトの経験を活かせるのではと思い、自動車メーカーなどを中心に考え始めました。しかし、説明会などでも「カッコいい」と思うことはあっても、ここで働きたいという思いにはあまりならず、自分の働いてる姿もほとんど想像できませんでした。

その後、先輩の勧めで参加した人材広告業の企業の個別説明会で、無形商材の営業の魅力に魅かれ、同業他社の説明会へたくさん参加しました。

他の就活生と話をしている中、最初から興味のある業界がはっきり決まっていた人は多くないと感じます。むしろ、ある程度決めていた業界での就活をやめ、途中から路線変更した人もいます。なので、最初のうちは、合同説明会はもちろんですが、個別説明会でも様々な業界の企業を見ることをおすすめします。

・自分の将来のキャリアビジョンについて

わたしは選考を重ねる中で、「理想の働き方は?」、「どんな社会人になりたい?」、「自分のビジョンは?」といった質問を何度かされました。はじめのうちはうまく答えることができませんでした。就活を続けていく中で自分のキャリアビジョンが明確になり、その話をしたときに、企業の方がいい反応をしてくれるところは「この会社なら自分の理想に近い働き方ができる」、反対に、あまりいい反応でなかったりその選考を通過することができなかった場合は「この会社に入っても理想の働き方はできない」と思うようにしていました。就活は、企業側が私たち就活生を選んでいるのと同時に、就活生が企業を選ぶ場でもあります。

選考がいい結果でなくても、自分の答えたことに自信を持っていれば、いちいち落ち込む必要はないです。

口頭で、私が就活の時によく話していた将来のキャリアビジョンについて簡単に説明したいと思います。

・就活中のアルバイトについて

私は就活中もあまりアルバイトは減らさず、週3~5でいれていました。というより、普段の生活費に加え、東京までの交通費もかかってくるので、減らせませんでした。(笑)

でも、アルバイト先の社員さんや他のバイトのメンバーと話すのは、忙しい就活期間中でもいい息抜きになりましたし、そんなにきつくはなかったです。

・面接でのアドバイス

よく聞かれる質問に対しての答え(文章ではなく、メモ)をかいたノートを用意しておくのはもちろんですが、私はその企業のHPを見たり説明会を聞いて思ったことから質問を

あらかじめ考えて書いておきました。いろんな企業に対して共通で聞ける質問と、その企業特有のことに対する質問があればよいと思います。

実際に、面接の最後に、ほとんどの場合何か質問はありますかと聞かれます。その時に、いくつか質問があるのでノートを見てもよろしいですかとって取り出す分には何も問題はありませんし、そこで答えていただいたことをメモするためにもノートは出しておいたほうがよいと思います。